

由良温泉(山形県鶴岡市)の概要

○概要

日本海に面した山形県庄内地方の漁師町。「日本の渚百選」にも選ばれた由良海岸に沈む夕陽は絶景である。

海水浴場や漁港、遊歩道、海洋釣り堀等が整備され、湯野浜温泉・湯田川温泉・あつみ温泉と共に、鶴岡市が誇る4温泉の一つとして、自然や歴史・文化に触れながら遊んでくつろげるリゾート型温泉エリアとなっている。

○特徴

新しい働き方として注目されるワーケーションに先駆的に取り組み、温泉×釣り×ワーケーションを組み合わせた「釣りケーション」を展開。海を眺めながら仕事をし、温泉で疲れを癒し、釣りを初めとした海を活かしたアクティビティで余暇を楽しみ、新鮮な地魚を食す...といった由良温泉ならではのワーケーションの場を提供している。

また、海洋資源の保護の観点からSDGsに取り組むとともに、漁業体験等のブルーツーリズムの推進にも力を入れている。

○泉質等

主な泉質:ナトリウム・カルシウム－硫酸塩泉

○今後の方針

温泉の公共利用の促進や、ワーケーションの受入環境整備、アクティビティの充実等を図ることで「釣りケーション」の取り組みをさらに進め、温泉での健康づくりや心身のリフレッシュ効果が期待できる新たな保養温泉地を目指す。



湯の児・湯の鶴温泉(熊本県水俣市)の概要

○概要

水俣市は、中心部から北西、八代海に臨む「湯の児温泉」、中心部から南東、山間部の湯出川沿いに立ち並ぶ「湯の鶴温泉」と、趣の異なる2つの温泉地を有している。

○特徴

湯の児温泉は、リアス式海岸の入り江に位置しており、内海で波が穏やかな海水浴場が隣接することから、家族連れに人気の温泉地となっている。その名称は、景行天皇が船上から海に手を入れ、湯の温度がぬるかったことから、湯の子ども「湯の子(児)」と名付けられたと言われている。

湯の鶴温泉は、湯出川の渓流を挟んで湧出する帯状の温泉郷で、かつて年季奉公という雇主の家に住み込みで勤める風習があった時代には、「湯の鶴温泉に年1回は湯治に行かせる」という条件を付ける習わしがあったほど、良質な温泉を有している。

○泉質等

主な泉質:ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉
アルカリ性単純温泉

○今後の方針

水俣市では様々なスポーツ施設や道の駅やバラ園がある広域公園「エコパーク水俣」を市内中心部に有しており、各温泉地と連携した着地型観光の推進に積極的に取り組んでいる。また、温泉地ごとのアクティビティも豊富で、これらとの相互連携を図りつつ、温泉地の魅力向上を目指していく。



温泉地 位置図



湯の児温泉



湯の鶴温泉



ヒメタツ

2017年に新種発見



湯出七滝トレッキング



エコパーク水俣バラ園